

【施設状況】

グループ名称	大岡農水産物処理加工施設								
指定管理者名	大岡農村女性ネットワーク					法人番号			
所管課	主	160500	農業政策課	副					
構成施設	1905	大岡農水産物処理加工施設							
施設分類	03	施設貸出2型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	面積111.79㎡/木造/平屋建								
施設設置目的	農水産物の加工、特産品の開発により農林業の振興と食生活の向上を図る。								
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを使用者に提供するとともに、地域の農業振興施設として地元産農産物加工の推進を目指す。								
主な実施事業	農水産物の加工								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	大岡農村女性ネットワーク			指定回数	3 回	
指定期間	平成30年4月1日	～	令和5年3月31日	5年	管理運営開始日	平成22年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
		施設利用日数	日	57	51	58	56	97%	3
		施設利用人数(延べ)	人	240	236	294	360	122%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 加工施設の使用の許可に関する業務 加工施設の施設及び整備の維持管理に関する業務 使用料の収受に関する業務 							
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 味噌作り講習会の実施 大豆を使った料理講習会の実施 							
サービス維持・向上の取組み(広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 適切に施設管理を行った。 小規模施設であることを利点とできるよう、臨機応変に利用者からの要望に細かく応えた。 							

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	3
	(2) 調査、会議等の内容 味噌づくり体験事業等を通じて、利用者とは直接関わることから、要望・苦情等については直接聞き取りにより把握している。		
	(3) 調査、会議等の結果 施設運営についての苦情を受けたことはない。		
利用者評価	(1) 良好とする評価		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 施設運営についての苦情を受けたことはない。		
	<<対応措置>> 要望等あった場合は速やかに丁寧に対応する。		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
	収入	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	80,000 400,000 110,000	利用料金 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入	230,780 400,000 25,002	歳入	使用料 雑(納付金) <small>行政財産目的外使用料</small> 貸付料 その他	使用料 雑(納付金) <small>行政財産目的外使用料</small> 貸付料 その他	
計	590,000	計	655,782	計	0	計	0		
支出	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	100,000 223,000 200,000 35,000 42,000 770	人件費 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他	121,600 271,903 284,215 31,350 40,000 770	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他		
計	600,000	計	749,838	計	570,450	計	570,450		
自主事業	収入 支出 自主事業損益	10,000 10,000	収入 支出 自主事業損益	33,000 33,000					
損益	0		-61,056	差引	-570,450		-570,450		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								16.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 統括責任者1名、施設管理責任者1名、担当者2名	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	・地域内外のイベントに積極的に参加し、大岡地区を知ってもらうきっかけづくりに貢献した。 ・物品購入等は、市内事業者から購入した。 ・地域内に障害者就労施設がないため、調達の実績はないが、相談があれば積極的に調達して行きたい。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	6	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	・味噌の原材料となる大豆栽培を推奨するなど地産地消を地域全体で取り組んでいる。 ・令和元年度に比べ、延べ施設利用人数が増加した。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	会員の増加	会員の増員はしていない。	会の活動をPRするとともに、引き続き会員募集を行う。

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	引き続き施設の適正管理を行い、積極的に活動することにより食文化の継承に寄与する。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・適切に施設清掃、点検等を行い利用者サービスに努めた。
- ・小規模施設であることを利点とできるよう、臨機応変に利用者からの要望に細かく応えた。
- ・真空パック機や、オープン等備品類について点検整備を行い、円滑な施設運営に努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

指定管理事業会計責任者と自主事業会計責任者を別に選任し、適正な会計処理を行った。

③ その他

多くの人に安心安全な昔ながらの味噌作りを体験してもらい、食文化の伝承を体験できる施設として、施設の有効活用に努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

地域内の高齢化により、指定管理団体の構成員も高齢化が進んでいるため、新規会員を加入させ、組織の活性化を図る。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

令和元年度に比べ、延べ施設利用人数が大幅に増加した。

② 次年度以降の取組み

引き続き施設の適正な管理を行い、積極的に活動することにより食文化の継承に寄与する。